

Festina lente

2018 2月号

Highlights

- 第33期生徒会総会が開催!
- 「いじめ対策基本方針」(組織図)
- 後期フレスポ大会行われる!

好天の下行われた強歩大会のようす 2018. 2. 9

第33期生徒会 「和」～岩田生の繋がい～	1
いじめ防止基本方針① 校長 柳井修	2
いじめ防止基本方針② 対応組織図	3
生徒会総会議案書① 生徒会担当 上久保晃	4
強歩大会を実施 体育科主任 上久保晃	5
APU・立命館コース 活動報告(1) APUコース主任 荒金 正治	6
生徒指導部より 指導主任 阿部順三 保健室より 養護教諭 野村めぐみ	7
1～2月 部活動の報告 特活主任 川元 威彦	
APU・立命館コース 活動報告(2) 高校・卒業証書授与式のご案内	8

第33期生徒会 「和」～岩田生の繋がい～

新生徒会役員による、今後の意気込み・抱負をご紹介します。

【生徒会長 白石 真之輔】

先輩方が作り上げた岩田を守り、新たな事に挑戦していきます。よろしくお祈いします。

【副会長 山村 遥花】

忠実に1つ1つの交渉をしていき、素晴らしい岩田にできるよう頑張ります。よろしくお祈いします。

【副会長 今村 奏太】

支えて下さっている方々への感謝を忘れずに誠意をもって取り組んでいきます。

【庶務 川崎 美音】

生徒会長・副会長のサポート、そして第33期生徒会の皆と何事にも全力投球で1年間駆け抜けます!

【庶務 神田 大地】

自分を信じて、ひたむきに頑張ります。

【文化委員会 前田 悠成・平松 燦哉】

1年間全力で頑張ります。御協力よろしくお祈いします。

【体育委員会 山口 元・佐藤 桃香】

元気もりもりで頑張ります。1年間よろしくお祈いします。

【美化委員会 辛島 菜々子・和田 愛可】

初心を忘れずに、生徒の力になれるように毎日頑張っていこうと思います。

【図書委員会 河野 信寛・清水 舞一】

皆さんが読書や自習をしやすい図書館を作るために頑張ります。活気ある図書館作りのために多くの人に来て欲しいと思います。1年間よろしくお祈いします。

【広報委員会 紅椏 日々希・荻 桃菜】

頑張るので広報誌をみんな見て下さい。
〔保護者の方も授業参観の時にぜひ!〕

【保健委員会 原田 勝之・秦 知優】

小さな所まで気を配り、全校生徒が笑顔で元気に過ごせるように全力を尽くします!!

【ボランティア委員会 寒竹 由稀・大戸 美音】

与えられた仕事はもちろん、新しいことにも積極的に挑戦します!

【生活委員会 東 真凜・工藤 周真】

生活委員会は昨年立ち上げられて、まだまだ手探りな所もありますが、できることを精一杯頑張ります!よろしくお祈いします ☺

★★

2月19日に行われた生徒総会の議案書を4～5ページに掲載しています。併せてご覧下さい。



(生徒総会の様子)

学園だより

「いじめ防止基本方針」と対応組織図について

校長 柳井 修

1. 目的

この基本方針は、本校におけるいじめ防止に係る基本理念および責務を明らかにするとともに、いじめ防止および解決を図るための基本となる事項を定めることにより、生徒が安心して生活し、学ぶことができる環境をつくることを目的とする。

2. 基本理念

- (1) 本校の教育方針である「社会に有為な人材の育成」「きめ細かく、一人ひとりを大切にする教育」「自ら学ぶ姿勢を示す意欲的な人材の育成」「公平と正義を重んじ、礼儀やマナーなどの躰を保護者と共に考える教育」を実践し、楽しく安心して中学・高校生活を送り、お互いの人格と権利を尊重する成熟した社会人へと成長できる環境作りの一環として、主体的にいじめ問題に取り組む。
- (2) 本校は、日々の教育活動を通して、いじめが人間の尊厳を踏みにじり、基本的人権を侵害する行為であることを生徒に理解させると共に、いじめは人間として絶対に許されるべき行為ではないとの強い認識を持たせることに努める。

3. 「思いやりや助け合いの心を持って行動できる」生徒を育てる取り組み

- (1) 人権教育の推進

本校の教育の方針に基づく日々の教育活動をはじめ、各教科の授業、生徒会活動、ボランティア活動、総合的な学習の時間、ホームルーム活動、人権講演会、学校行事等に人権教育の視点を位置づけ、いのちの大切さを理解すると共に、他者を認めやさしい配慮ができる生徒の育成をする。
- (2) 体験活動の推進

様々な学校行事と本校が従来推進してきたボランティア活動などを通して、生徒同士がお互いをよく知ると共に、相互扶助の心を育成する。
- (3) 特別活動の充実

集団や社会の一員としてよりよい生活や人間関係を構築する力を育むことを目的として、ホームルーム活動、生徒会活動、部活動、キャリア教育、その他の学校行事の指導の充実を図る。

4. いじめの未然防止のための取組み

- (1) 授業改善

研究授業、教員研修、授業評価アンケート等を通して、生徒にとって楽しくてわかる授業の実践に努め、生徒の学ぶ意欲と自己有用感を高める。
- (2) 教育相談体制の充実

朝終礼、ホームルーム活動、授業等において、担任および教科担当が生徒の小さな変化にも気づくことができるよう常に細心の注意を払う努力をする。また、定期的にクラス担任は個別面談を行い、人間関係での悩み等を聞き取ると同時に、養護教諭や人権学習主任との連携協力を図り、適切な助言やクラス全体への働きかけができるよう努める。
- (3) いじめの起きない学校風土づくり

いじめは人間として絶対に許されないことを日々の学校生活を通して訴え続け、生徒が安心して学校生活を送れる環境作りに努める。
- (4) 生徒への啓発

いじめに関する注意喚起を機会あるごとに行うと同時に、生徒会を中心として生徒自らがいじめは絶対に許されない行為であるという意識を高める活動を推進していく。また、生徒だけではなく保護者にもSNS等インターネット上でのいじめに関する現状と対策について外部講師による講演会を実施していじめ防止への理解と協力を求める。
- (5) コミュニケーション能力の育成

(アサーティブな対応ができる生徒を育てる。)

「相手のことを思いやる大切さ」、
「自分の気持ちを伝える大切さ」を認め、それを行動化できる生徒を育成することを人権教育の目標に掲げる。

5. いじめの早期発見のための取組み

- (1) 積極的ないじめの認知

朝終礼、ホームルーム活動、授業等で生徒の表情やしぐさをきめ細かく観察すると共に、わずかな変化に対してもいじめの兆候ではないかとの疑いを持ち、教育相談や養護教諭、スクールカウンセラーと連携しながら積極的にいじめを認知するよう努める。
- (2) 自己チェックシステムの活用

生徒が定期的に自分の生活を振り返るための自己チェックを行い、それをクラス担任が確認することにより、い

じめ等の早期発見に努める。

- (3) アンケートの実施

定期的にいじめ等の実態調査を行い、問題の早期発見に努める。
- (4) 保護者との連携

日頃から担任と保護者との連絡を密に行い、保護者がどんな些細なことでも担任に相談できる環境作りに努める。また、量販店や駅などの関係機関との連携を進め、地域での生徒の様子を把握する。さらに、担任以外にも養護教諭、スクールカウンセラーと相談できる旨を周知し、問題の早期解決を図る。
- (5) 外部機関との連携

大分中央警察署や大分県こころとからだの相談支援センター等の外部機関と定期的に情報交換する中で、学校外におけるいじめ等問題行動の早期発見に努める。

6. いじめの早期解決に向けた取組み

- (1) 組織的対応

特定の教職員で抱え込まず、学年・コース主任をはじめ必要ならば教頭や養護教諭とも速やかに情報を共有しながら問題解決を図る。「いじめ対応サポート班」を立ち上げた場合は、班員で協議を重ね問題解決に向けて計画の立案と適切な対応により、被害生徒を守り通す。一方、加害生徒に対しては教育的配慮の下、毅然とした態度で指導に当たる。
- (2) 被害生徒・加害生徒への迅速な対応

複数の関係者からの情報収集および事実確認をした上で、被害生徒の安全を最優先に考え、加害生徒に対しては毅然とした態度で指導に当たる。

被害生徒に対して、継続的なカウンセリングを行うなどメンタル面のサポートを十分に行い、一日も早く安心して学校生活を送れるように努める。

加害生徒に対して、いじめに至った背景等をカウンセリング等により聞き取り、本生徒の立ち直りと再発防止に努める。
- (3) 保護者との連携

被害生徒および加害生徒の保護者に対して、家庭訪問等によりいじめの状況と今後の対応について十分な説明を行い、理解と指導についての協力を得る。



(4) 外部機関との連携

必要に応じて、大分中央警察署や大分県心とからだの相談支援センター等の外部機関と連携を取りながら早期解決に向けた最善の方法を講じる。犯罪行為として取り扱われるべき事案については、学校法人および大分中央警察署等と連携して対処する。また、必要に応じて大分地方方法務局や大分県中央児童相談所と連携を取りながら、いじめの被害者や加害者への適切な対応について教示を得る。

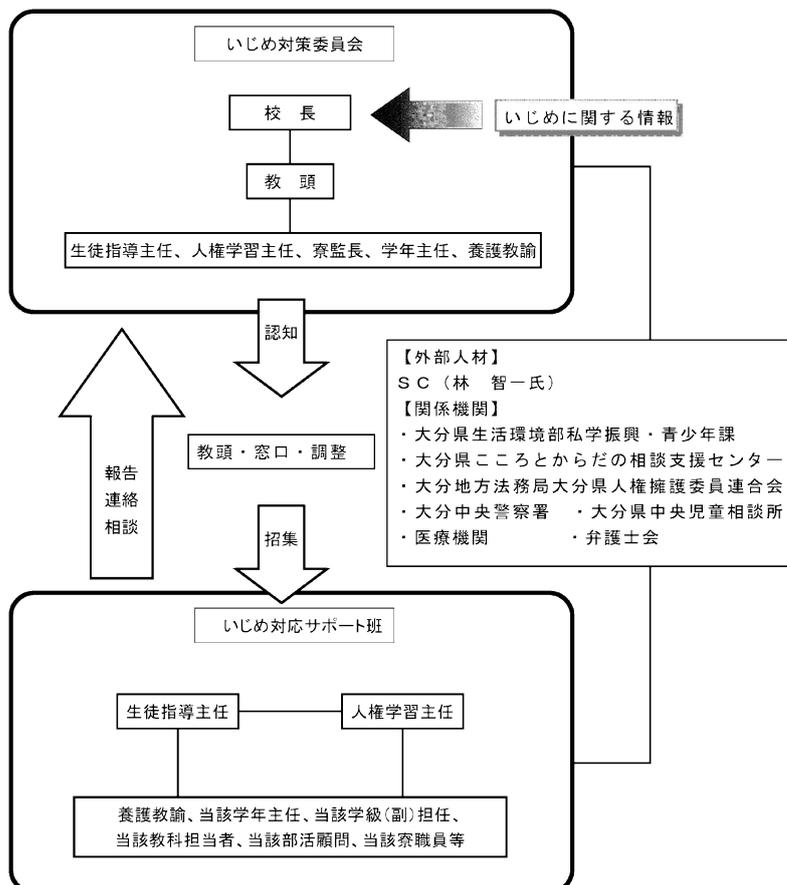
7. いじめ問題に取り組むための

校内組織

(1) いじめ対策委員会

いじめを未然に防ぐための指導方法や対策を協議するために、次の機能を担う「いじめ対策委員会」を設置し、必要に応じて開催する。

岩田中学校・高等学校 いじめ問題対応組織図



(構成員)

校長、教頭、生徒指導主任、人権学習主任、寮監長、学年主任、養護教諭 (活動)

- ・いじめ問題対応の年間計画の作成
- ・校内のいじめの現状把握と指導方針
- ・対策の決定 ・学校におけるいじめ問題への取組みの点検

(2) いじめ対応サポート班

いじめが起きた時、次の機能を担う「いじめ対応サポート班」を設置し、いじめの早期解決に向けた取組みを行う。

(構成員)

生徒指導主任、人権学習主任、養護教諭、スクールカウンセラー、当該学年主任、当該学級担任、当該教科担任、当該部活動顧問等

(活動)

- ・当該いじめ事案の対応方針の決定
- ・当該いじめ事案の対応経過確認および対応方針の修正

8. 重大事態への対処

生命、心身又は財産に重大な被害が生じた疑いや相当の期間学校を欠席することを余儀なくされている疑いがあるときは、次の対処を行う。

- (1) 重大事態が発生した旨を学校法人および大分県生活環境部私学振興・青少年課を通じて知事に速やかに報告する。
- (2) 学校いじめ調査委員会が行う事実関係を明確にするための調査に協力する。

9. 学校評価における留意事項等

毎年実施している保護者アンケートにいじめ問題に適正に対処しているか学校評価を行う項目に加え、本校の取組みを評価する。

【チェックシート1】

1 いじめられている生徒のサイン

いじめられている生徒は自分から言い出せないことが多い。多くの教員の目で多くの場面で生徒を観察し、小さなサインを見逃さないことが大切である。

場面	サイン
登校時 朝のSHR	<input type="checkbox"/> 遅刻・欠席が増え、理由を明確に言わない <input type="checkbox"/> 教員と視線を合わせず、うつむいている <input type="checkbox"/> 体調不良を訴える <input type="checkbox"/> 提出物を忘れたり、期限に遅れる <input type="checkbox"/> 担任が教室に入室後、遅れて入室してくる
授業中	<input type="checkbox"/> 保健室・トイレに行くようになる <input type="checkbox"/> 教材等の忘れ物が目立つ <input type="checkbox"/> 机周りが散乱している <input type="checkbox"/> 決められた席と異なる席に着いている <input type="checkbox"/> 教科書・ノートに汚れがある <input type="checkbox"/> 突然個人名が出される
休み時間等	<input type="checkbox"/> 弁当にいたすらをされる <input type="checkbox"/> 昼食を教室の自分の席で食べない <input type="checkbox"/> 用のない場所にいることが多い <input type="checkbox"/> ぶざけ合っているが表情がさえない <input type="checkbox"/> 衣服が汚れていたりしている <input type="checkbox"/> 一人で清掃している
放課後等	<input type="checkbox"/> 慌てて下校する。または、用もないのに学校に残っている <input type="checkbox"/> 持ち物がなくなったり、持ち物にいたすらされる <input type="checkbox"/> 一人で部活動の準備、片付けをしている

2 いじめている生徒のサイン

いじめている生徒がいることに気付いたら、積極的に生徒の中に入り、コミュニケーションを増やし、状況を把握する。

サイン
<input type="checkbox"/> 教室等で仲間同士で集まり、ひそひそ話をしている <input type="checkbox"/> ある生徒にだけ、周囲が異常に気を遣っている <input type="checkbox"/> 教員が近づくと、不自然に分散したりする <input type="checkbox"/> 自己中心的な行動が目立ち、ボスの存在の生徒がいる

新執行部による生徒総会議案書 ～2月16日(金)に生徒総会が開催されました！～

毎年、本校の生徒総会は2月に、仮卒で不在の高3をのぞく中1～高2の生徒で行われます。

11月の会長選挙を経て新生徒会が発足し、総会で今後1年の活動について、各委員会からの議案が説明→審議→承認されます。

また、各委員会の提案内容については、総会で承認され、その後、学校運営上において問題がないものが実施されます。

執行部を中心に昼休みや放課後を使って、一生懸命取り組んだ初仕事になります。総会ではいろんな質問や意見が出ますが、今後の活動にいかしてほしいと思います。

◇執行委員会

【生徒会長】白石 真之輔

【副会長】山村 遥花 ・ 今村 奏太

【庶務】川崎 美音 ・ 神田 大地

〈スローガン〉和 ～岩田生の繋がりを～

〈活動内容〉

- 土曜日の部活動用更衣室の拡張
 - ・15:00に校舎が施錠されるため、外で着替えている現状の解決
- 学校内にライト設置
 - ・18時前後の部活動および下校時の安全確保
 - ※生徒から要望があった場所に設置してもらう
- 体操服登下校の許可、学園祭時のスタッフ・学園祭Tシャツ下校の許可、低学年の自転車登校の許可
 - ・この件は生活委員会へ依頼
- 遠足の復活
 - ・高校生も参加できる日程を探して遠足を復活
 - ・他学年同士の繋がりを深める
- 学園祭の企画・運営

◇美化委員会

【委員長】辛島 菜々子

【副委員長】和田 愛可

〈スローガン〉美化ルンリン

〈活動内容〉

- 美化コンクールの実施
 - ・学期に一回実施し、採点はこれまでどおりに委員長と副委員長で行う
- 掃除中の見回り
 - ・月に一回実施し、採点は委員長と副委員長が抜き打ちで行う
 - ※1・2は採点基準を後日教室掲示し、この結果をもとに生徒会賞に加点。

3. ゴミの分別表をゴミ箱付近に掲示

4. 掃除道具の点検

- ・外掃除の道具を二ヶ月に一回、委員長と副委員長で点検
- ・教室については、必要な用具があればクラスの美化委員が美化委員長または副委員長に随時報告し、それを受けて美化委員会から学校に交渉する。
- 掃除用具の交換が必要な時は、その都度掃除時間にゴミステーションに持って来てください

5. ゴミ箱のふきあげ

- ・各学期の終業日、各クラスの美化委員が自分のクラスのゴミ箱を掃除

◇文化委員会

【委員長】前田 悠成

【副委員長】平松 燦哉

〈スローガン〉文華

〈活動内容〉

- ベルマーク収集
 - ・一学期のベルマーク収集結果をもとに、学園祭の総合評価で加点
 - ・各クラスの文化委員に事前に回収用の袋を渡し、集計作業をする
 - ・学期ごとにクラス別収集結果を文化新聞に掲載
- 映画鑑賞会
 - ・各学期に一回行う
 - ・上映する映画は委員会で絞った候補の中から希望調査を行って決定
- 学園祭での生徒会賞
 - ・文化委員会(ベルマーク収集)、美化委員(美化コンクール)、図書委員会(図書館ウィーク)の点数をもとに、学園祭で表彰する

◇体育委員会

【委員長】山口 元

【副委員長】佐藤 桃香

〈スローガン〉PE ～Play & Enjoy～

〈活動内容〉

- 体育大会の企画・運営補助
- クラスマッチの企画・運営補助
- 授業用ビブスの洗濯
 - ・夏は週に一回、冬は二週間に一回
 - ・雨が多い季節などには状況に応じて洗濯
- 体育倉庫の掃除・点検
 - ・月に一回実施
- 強歩大会のサポート
- 昼休みの体育館の見回り

・体育委員で行う

・利用状況は悪い場合は使用禁止にする

◇保健委員会

【委員長】原田 勝之

【副委員長】秦 知優

〈スローガン〉カラダからピース

〈活動内容〉

- 冷水機の掃除
 - ・月に一回、各クラスの保健委員で実施
- 消毒液・液体石鹼の補充(なくなり次第補充する)
 - ・各委員が初めてこの仕事をする際には、委員長か副委員長が付いてサポートする
- 校内掲示板に保健だよりを掲載
 - ・毎学期の保健行事の連絡や、保健室利用者内訳を掲載し、保健に関する情報を提供
 - ・委員長と副委員長が毎学期に一回作成
- 全校朝礼など、全校生徒が集まる際に消毒液を準備
 - ・病気の蔓延を防ぐ ※強制はしない
- 体育行事(体育大会やクラスマッチなど)の際の爪切りチェック
 - ・朝礼時に各クラスの保健委員が実施
 - ・切っていない人を保健委員が確認し、すぐに職員室で爪を切ってもらい、保健委員に報告
- 保健に関する呼びかけポスター(手洗い・うがい・換気・歯磨きなど)の作成
 - ・各学年の保健委員で作成し、季節にあわせて発行
- 保健行事(身体測定や歯科検診など)の補助
- 体育大会やクラスマッチでの救護活動
- 健康観察の実施
 - ・朝礼で保健委員が実施し、体調が悪い生徒がいた場合は、朝礼後に新しく作成する健康観察簿に記入し、職員室に提出
- 空気清浄機の洗浄
 - ・各学期の終業日に保健委員が実施

◇図書委員会

【委員長】河野 信寛

【副委員長】清水 舞一

〈スローガン〉シン・図書館

～新しい、親しみやすい、真の図書館へ～

〈活動内容〉

1. 図書館の管理
 - ・各クラスで担当曜日を決め、当番に来ないクラスには生徒会賞から減点するなどの対応をする
 - ・未返却や紛失した本の把握
2. 「いわっちゃん新聞」の発行
 - ・新書が入った際に「いわっちゃん新聞」に掲載
3. 図書館前に図書館ボックスの設置
 - ・読みたい本の名前を書いてボックスに入れてもらい、要望の多かった本の設置を目指す
4. スポーツ雑誌付録を月に一回配布
 - ・配布する付録については図書館前に掲示
 - ※希望者が多い場合は抽選
5. 図書館ウィークの開催
 - ・五月下旬・六月中旬・七月上旬に計三回、月曜日～金曜日に開催予定
 - ・生徒会賞に加点
6. 低学年用および新書のバーコードの設定
 - ・今後、業者と交渉
7. 図書館の大掃除の実施
 - ・定期考査後の土曜日に、普段では掃除ができないところを掃除する
8. 開館時間
 - ・昼休みは12:45～13:05、放課後は～17:50(月曜日～金曜日)または～14:50(土曜日または考査中)

◇広報委員会

【委員長】紅椽 日々希
 【副委員長】荻 桃菜
 〈スローガン〉**新聞紙、下から読んでも新聞紙**
～みんなが読める新聞紙、みんなで読もう新聞紙～
 〈活動内容〉

1. 「生徒会活動報告書」の発行(不定期)

- ・「生徒会活動報告書」を発行し、執行部や各委員会の公約実現の進捗状況を継続的に報告
 - ・各クラスの広報委員が各クラスに置かれたファイルに綴じて保存
2. 「いわっちゃん新聞」の発行
 - ・「いわっちゃん新聞」を一月に一回発行
 - ・学校行事や最近の話題など、内容は自由
 - ・他の委員会と連携してコラムなどを掲載
 - ・各学年の広報委員に協力をしてもらい、各クラスに教室掲示する
 - ・学園祭の時期などに臨時号を発行

◇ボランティア委員会

【委員長】寒竹 由稀
 【副委員長】大戸 美音
 〈スローガン〉**世界も、自分も変えてみよう!**

〈活動内容〉

1. 空き缶の回収
 - ・各学年にボックスを設置し、満杯になったら各学年のボランティア委員がゴミステーションへ持って行く
2. ペットボトルキャップの回収
 - ・空き缶ボックスの隣にペットボトルキャップ回収ボックスを設置
3. 書き損じハガキの回収
 - ・職員室入り口に回収ボックスを設置

◇生活委員会

【委員長】東 真凜
 【副委員長】工藤 周真
 〈スローガン〉

#DIY!!!

〈活動内容〉

1. 自転車点検
 - ・盗難防止のためのツーロックの徹底

- ・月二回のツーロックとステッカーの検査
2. 各教室への棚の設置
 - ・部活用具などの荷物の散乱を防ぎ、教室内の美化に努める
 - ・昨年度の生活委員会の動きを継続し、学校と交渉
 3. 校内規則の明確化
 - ・学校生活における制服などについての規則を全校生徒に知ってもらう
 - ・広報委員会の「いわっちゃん新聞」に掲載
 4. 校内巡回への参加
 - ・より広い範囲で学校の風紀を向上させるため、先生と日程調整しながら同行する
 5. 学園祭三日目の全校一斉片づけでのゴミ分別への協力
 - ・効率化を図るため、生活委員会と美化委員会合同して実施
 6. 登校指導
 - ・昨年度と同様の方法で、頻度を高めて実施
 7. 服装チェック
 - ・月に二回、各クラスの担任に化粧をしていないか、服装に違反がないかなどを検査してもらい、中学はルーム長、高校は生活委員会が記録・確認
 8. 生活面における学校との交渉
 - ※提案事項3に記載



第9回強歩大会を行う ～めざせ体力づくり～

体育科主任 上久保 晃

「強歩大会」は今年で9年目となりました。タイムスケジュールは昨年と同様3限まで授業を受けた後の半日行事で、学校前大分川河川敷をスタートし滝尾橋・弁天大橋下を折り返しゴールという、1周4kmのコースを男子は3周、女子は2周半のコースで行われました。当日は天気も良く強歩大会には適したコンディションで、中学1年から高校2年までの男女が一斉にゴール地点を目指しスタートしました。今回も大会を通して自分の体力や精神力と向き合う貴重な体験ができたのではないかと思います。ま

た今回、初めての試みとしてゴールした生徒に温かいココア・コーンスープの炊き出しが用意され生徒には大変好評でした。今回も先生方や体育委員の生徒などの御協力により大会を無事終えることができました。心から感謝申し上げます。~~~~~

今年度の強歩大会では、幹事会の中で提案のあった「炊き出し」を試みとして実施しました。

「生徒の体調管理・回復のために何か温かいものを」という案に、「今回は保

護者会からの金銭的援助をお願いする」という形で会長・副会長に御賛同いただきました。メニューは現時点での会計状況を見ながら業者(ヤマウチ)さんと相談して決めました。

前述のように、生徒には予想以上に好評でしたので、来年度は活動の一つとして予算に組み入れ、さらに充実したものにしたいと思います。

事後報告になりましたが、たいへん有り難い援助をいただきました。御礼申し上げます。

(総務：立川)

学園だより

APU・立命館コース 活動報告(1)

APUコース主任 荒金 正治

◆後期プレゼン大会について

1月24日(水)、本校大講義室にてAPUコース後期プレゼンテーション大会が行われました。4-4・5-4ではそれぞれ与えられたテーマに沿ってアンケート活動や調べ学習を行い、自分たちなりの結論を導き出すことができました。また今回は英語による発表ということもあり、生徒たちも発表直前まで発音のチェックしておりました。この活動を通じて、生徒たちは思考力・分析力・情報発信能力など、これからの社会において必要になってくる力を養っております。今までの活動の総まとめとして5-4は立派な発表ができたと思います。また、4-4の生徒には今回の発表の経験を活かして、来年度はさらにステップアップしてくれることを期待しております。

APU講座Ⅰ(担当;吉本)

○テーマ:「大分県の観光開発」～大分県内にある市町村の観光地について、その魅力と現状を調べる。また、その市町村あるいは観光地が更に発展し、多くの観光客(特に海外からの観光客)を集める為の方策を考察する。～

○目標:1学期で学んだ文献調査の知識をもとに、社会調査(量的調査)のスキルを身につける。また、前期プレゼンでの反省を生かし、作成・発表(英語)上の技術向上を図る。

○感想:「冬休み明けのリハーサルでは、ほとんどの生徒が原稿を覚えておらず、ただプリントを棒読みするだけに終わりました。「このままでは本番が・・・」と不安いっぱい迎えた1月24日。こちらの心配をよそに、どのグループも本当に素晴らしいプレゼンを見せてくれました。実を言いますと、これは例年のことなのです。直前までハラハラさせておきながら、本番ではきっちり決めてくれる。「本番に強い」はAPUコースの伝統になりそうです。皆さん、お疲れさまでした。次回も期待しています!」

以下は、各グループのタイトルです。

グループA…“Umi wa Hiroina Okina”

グループB…“YUFUJIN “Wake up

Sleeping Lion”

グループC…“Breathe Life into

Showanomachi Again”

グループD…“Onsen Station”

APU講座Ⅱ(担当;坂本)

○テーマ:「僕たちとイスラム文化」

2018年3月に行われるマレーシアへの修学旅行を前に、少しでもイスラムの文化・生活・習慣を学ぼうという目的で考えたテーマです。

①イスラムの国や地域がどのように広がっているのか。

②様々なイスラムの国の人々と、どのようなプランで交流できるのか。

*各グループが様々なアイデアで交流のプランを提案しました。

○感想:イスラムの人々の生活や習慣を学び、それぞれのグループが独自の提案をして交流プログラムを考えようという趣旨のプレゼンでした。直前まで不安が払拭できないグループが多かったのですが、土壇場の力で何とか良いプレゼンに仕上げてくれたと思います。以下は、それぞれのグループの内容です。

グループA…“モルディ船”(モルディブに屋形船を持って行って、交流プログラムを考えました。)

グループB…“チュニジアでたこ焼きを広めよう”(チュニジアの食とたこ焼きを融合させました。)

グループC…“ドバイの果てまでイッタッキ”(ドバイに日本の屋台を展開しての交流プログラム。)

グループD…“IWATA COLLECTION～2018～”(インドネシアのヒジャブ&パティックと和柄を融合。)

グループE…“TOKYO Party&Café～2018～”(東京にトルコ式のパーティーとカフェを展開させる提案でした。)

グループF…“和～俺たち達の大和魂みせてやらあ～”(カザフスタンの人々を正月の日本に招き、日本の正月を経験してもらうというプログラムでした。)

～～～グループ表彰・個人表彰～～～

★高校1年生の部 APU講座Ⅰ

最優秀賞:グループA(木下、後藤は、西村、前田、森田、渡辺、馬)

優秀賞:グループD(小山田、城元、情野、關、田畑、矢野)

特別賞:グループB(後藤里、佐矢、半田、松田、矢野、Lina)

You can do it 賞:グループC(武生、相良、寺川、白岩、矢邊、許)

Best question賞:木下諄
(4-4, 5-4合わせての選考)

Best answer 賞:相良匠音
(4-4, 5-4合わせての選考)

★高校2年生の部 APU講座Ⅱ

最優秀賞:グループC(石川、牧坂、吉丸、畑山、平野)

優秀賞:グループF(桑原、古原、花岡、山崎、Eleonora)

優良賞:グループB(橋本、安村、叶子、安東、辻、高野)

TA賞:グループA(新井、笠口、大多和、片山、松尾)

TA賞:グループD(榎園、金成、川津、久保田、朱)

TA賞:グループE(堀江、福田、渡辺、安西、Theejutha、田實)

(5年4組担任:坂上)



◆交流会について

APU・立命館コースでは、海外の高校生との交流を積極的に行っております。今学期も1月26日(金)に上海の文来高校と、2月5日(月)に台湾のワシントン高校と交流会を行いました。文来高校からは昨年、一昨年と本校に数名編入しており、交流会は学校紹介のよい機会になっております。今回も生徒有志のパフォーマンス発表だけではなく、岩田生の学校生活をスクリーンを使って説明したり、その後のフリートークでも岩田のパンフレット等で文来高校の生徒からの質問に生徒たちは一生懸命答えていました。また、ワシントン高校は英語教育に大変力を入れている学校で、生徒さんたちも流暢な英語を使っておりましたので、本校の生徒も日頃培った英語の力をよく試すことができたと思います。フリートークの時間には自分たちが撮影した写真をお互いに見せ合ったり、トランプでゲームをするなどして終始盛り上がり、楽しい時間はあっという間に過ぎました。来年度も年に数回、このような交流会を持つことになると思います。新たな出会いと生徒たちがさらに国際感覚を磨いてくれることを期待しております。
(5年4組担任:坂上)





生徒指導部より

生徒指導主任 阿部順三

一情報社会における子どもたちの現状と私たちの役割ー
情報モラル・情報セキュリティの取り組みをしている大分市情報学習センターより講演がありましたので報告いたします。ご家庭でも継続して関心を持たれ注意・監督をお願いします。

- ◎子どもたちのネット利用から見えること
 - ◆ネットやサービスの仕組みを理解しているか
 - ＊匿名で投稿しても個人が特定される！
 - ＊発信した情報は世界中に公開される！
 - ＊一度発信した情報は削除できない！
 - ◆自分の書き込みによって、相手がどのような気持ちになるか想像できているか
 - ◆自分や他者、社会への影響を想像できているか
 - ◆してよいことと悪いことの分別がつ

- ◎私たち大人（保護者）の役割
 - ◆子ども主体で考える場づくり
ルール作りの過程の中で、主体的に問題を考えられる
 - ◆社会のルールやマナー、自分や他人を守る方法を教える
してよいことと悪いことは現実もネットも同じ
 - ◆情報端末の仕組みを大人（保護者）が理解する
ペアレンタルコントロール（機能制限）、フィルタリングなど
 - ◆インターネットに関する法律や権利を教える
 - ＊ネット上で誹謗中傷する行為→（刑事）名誉毀損罪、侮辱罪（民事）損害賠償請求
 - ＊アニメの写真やイラストをアイコンに使う→著作権法違反
 - ＊第三者のID、パスワードを無断で使用→不正アクセス禁止法
 - ＊18歳未満が、裸の画像を撮影、送信、所

- 持する行為→児童ポルノ禁止法
- ＊ネット上に本人が公開したくないことを書き込む行為→プライバシーの侵害
- ＊本人が特定できる写真を、無断で撮影したり、ネット上に公開する行為→肖像権侵害
- ◆他者との違いを認めることの大切さを教える・・・生活環境、考え方、感じ方など
- ◆相談できる環境、心の居場所をつくる

～ ご相談はこちらへ～

- 大分市情報学習センターネット
トラブル相談窓口
Tel 097-545-8616
9:00~16:00
担当:荒巻
- ネットあんしんセンター相談窓口
Tel 097-534-5564
月・水・金
13:00~17:30

ほけんしつから

養護教諭 野村めぐみ

12月から大流行していたインフルエンザがようやく沈静化しつつあります。インフルエンザと同時に感染性胃腸炎に罹患したお子さんも多数いましたが、こちらも罹患患者はほぼいなくなりました。ですが、まだまだ油断はできません。引き続きご家庭でも予防に御協力頂きますようお願い致します。マスクは各ご家庭で準備をお願いいたします。

また、体調がすぐれない場合は無理に登校しないようお願いいたします。

WYSHプロジェクト

5の4WYSH

12月に続き3月に5の4のWYSHを予定しております。

33回生WYSH

3月に33回生WYSH授業を予定して

おります。実施後に感想・様子などお伝え致します。

＊WYSH教育とは、京都大学の木原雅子先生がは発案されたプロジェクトで「すべての子どもたちが心身ともに健やかに幸せに過ごすことができる社会」を目指して行われるプロジェクトです。

※12/1~2/20のインフルエンザ罹患患者数

	男子	女子
1年	4	3
2年	14	4
3年	17	10
4年	22	15
5年	6	3
6年	0	0

手洗いがいい・マスクの着用を！



1~2月 部活動の報告

特活主任 川元威彦

●中学男子テニス部

★大分県中学生新人テニス大会

【個人戦男子ダブルス】

2R進出：山月&西田

3R進出：薬師寺&幸【Best16】

秋の新人戦がここまで順延されました。

「上位に食い込める安定感」が今後の課題です。今年度の公式戦はこれが最終となります。
(顧問：立川)

→ 強歩大会の様子。皆、頑張っています。



→ 大好評の「炊き出し」



まだまだ寒い日もありますが、いよいよ期末考査が近づいて
きました。体調管理に気をつけて、ベストを尽くしましょう!!

APU・立命館コース 活動報告 (2)

APUコース主任 荒金 正治

☆大学入学前研修

APUコース高3生は、大学入学後にスムーズに学習や生活に入れるよう、12月から2月にかけて、いろいろな研修が行われました。それらの研修の報告をします。

■APUキャンパス訪問デー 12/10 (日)

APU進学予定の生徒は、終日APUでのガイダンスに参加しました。英語力診断テストを受け、その日のうちに結果が渡され、レベルごとに入学までの英語課題(オンライン学習)が設定されました。この課題は、入学後も継続して学習していくシステムになっています。また、入学までにやっておくべき英語学習の説明も受けました。英語以外では、国語は、高校までに学習した常用漢字、故事成語、慣用句などの復習と暗記をしておく。さらに、近現代文学を中心に文学史の復習をしておく。社会は、日本史や世界史の教科書を読み返して大きな流れを理解しておくことや、新聞を読む習慣を身に付けておくことなど、具体的な説明がありました。また、国際経営学部(A PM)へ進学予定の生徒には、数学の復習をしっかりとっておくようにと説明もありました。この学部には数学の必修科目が設定されていて、卒業するためには、この単位を取得する必要があります。

学習面の他には、生活面の自己管理ができるようにしておくこと、大学で何をしたいかを明確にしておくことなどの説明も受

けました。

■事前ガイダンス 1/10 (水)

立命館学園一貫教育部(京都)の職員2名と本校APUコース卒業生2名(APU生、立命館大生)に来て頂いての研修でした。職員の方からは、入学後に留学をする場合の時期や準備についての説明や、就職活動では会社の業種や形態の違いで、3回生から始まるインターンシップの時期や期間、内定時期が異なることなどの説明もありました。本校卒業生2名からは、入学後の生活や学習について、大学生の先輩からの視点で、具体的なアドバイスがありました。生活面ではサークル活動やアルバイト、一人暮らしをするための準備などの話がありました。学習面では、講義の履修申請や受講する時の注意などの説明がありました。また、この日は、グループに分かれてのワークショップ。本校卒業生による研修ということもあり、高3生もリラックスして研修することができました。

■入学前ワークショップ 1/18 (木)

APUアドミッションズ・オフィスの職員の方に本校に来て頂いて、入学までの学習について具体的な自己管理方法のワークショップを行いました。特に時間をしっかり管理して、各学習が充実したものになるよう、その管理方法について学びました。50分間という短い研修でしたが、具体的に取り組みやすいものでした。また、英語力

について、大学で伸びる学生と伸び悩む学生の違いについての説明もあり、生徒は皆、真剣に耳を傾けていました。

■立命館大学プレエントランスデイ 2/5 (月)

立命館大学進学予定の生徒は、各キャンパス(京都、大阪、滋賀)で研修を受けました。午前中、一貫教育部の職員の方から入学前の心構えについての講話がありました。各学部から連絡されている入学前課題について、取り組み方や提出方法の確認や注意事項の説明もありました。抽象的な概念を自分で考え、レポートという形で提出するなど、高校での課題との違いを生徒は再認識したようでした。キャリアセンターの職員の方からは、入学から卒業までのキャリア形成についての講話がありました。そして、学生スタッフによるリレートークがあり、生徒は和やかに話に聞き入っていました。午後からは、各学部の会場に移動して、学生スタッフによるワークショップが行われました。他校の生徒と一緒に活動することもあり、生徒は緊張しながらも新鮮な気持ちで参加していました。

前日に大分から移動し、当日は夕方まで密度の濃い研修があり、大分に帰って来たのは夜遅く、しかも翌日はAPUでの期末試験の受験という、ハードスケジュールでしたが、全員ががんばって乗り切ることができました。



(写真は昨年の卒業式)

第30回岩田高等学校 卒業証書授与式のご案内

早いもので今年も卒業式の季節となりました。今年の中高一貫校がはじまり27回目の高校卒業式となります。卒業生の保護者の皆さんは、ぜひご臨席下さいますようお願いいたします。

日時：3月1日(木)午前10時より

場所：本校体育館

(上履きをご持参下さい)

出席者

- ・卒業生(30回生)、卒業生の保護者、
- ・在校生(高2全員、他の学年は各クラスのルーム長・副ルーム長)、教職員

来賓

- ・立命館アジア太平洋大学、(学)立命館
- ・岩田学園同窓会「樟友会」
- ・岩田学園保護者会

<http://iwata.ed.jp/>

ホームページやブログでCheck!

能力の差は小さいが
努力の差は大きい

脚力尽くる時、山更に好し。
輝ける未来へ、全力でサポートします!



February 2018

大分市岩田町1-1-1

学校法人岩田学園

電話 097(558)3007

Fax 097(556)8937

Email iwata@iwata.ed.jp



21世紀の有為な人材を育成する

岩田中学校・高等学校